

毎週日曜発行
2023 8/13

こども新聞 週刊がほピョンプラス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



地球のためにできること

環境に配慮した森林運営



森の恵みを使いながら森を守るには、どんな方法があるのだろうか。国連の持続可能な開発目標(SDGs)は17の目標の一つに「陸の豊かさを守ろう」を掲げているんだ。JAみやぎ登米(登

きょうのテーマ

地元産の認証木材を使用



米市)の取り組みを紹介するよ。

JAみやぎ登米の本店・東部なかだ基幹支店の建物は、木がたくさん使われています。交流スペースの1階から2階にかけて真っすぐ伸びた柱は、天井でヤシの木の葉のように広がっています。待合スペースの天井は、重なり合う木の模様が流れる川の様です。

この建物の木材のほとんどが、市内で生産され、環境に配慮した森林運営を目指す国際機関「森林管理協議会」(FSC・本部ドイツ)の認証を受けています。

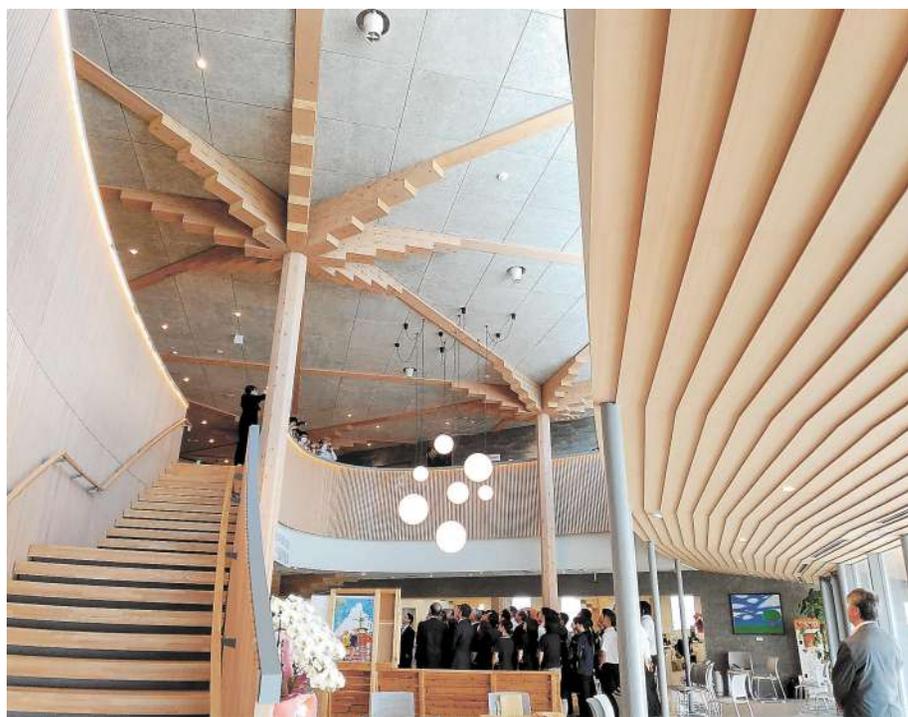


認証には世界で統一された基準があり、「多様な生物が生息できる豊かな森が守られている」「森林の木を切る量を適切に管理している」「森で働く人々が安心して働ける」などを満たさないとけません。

認証材を生産から加工まで手がけたのは、登米市と市内4森林組合、個

人森林所有者でつくる市森林管理協議会です。生態系に配慮した森林管理をしている団体に与えられる「FM認証」と、林産物の適切な加工に取り組む団体への「COC認証」の二つを取得しています。

JAみやぎ登米はこれまでも、SDGsに力を入れてきました。農業や



地域で生産、加工したFSC認証材をたくさん使ったJAみやぎ登米本店・東部なかだ基幹支店

化学肥料に頼らないコメ作りや、稲わらを餌として牛に与え、排せつ物で作った堆肥を稲作に使う循環型農業が有名です。



JAみやぎ登米の佐野和夫組合長は「登米は自然豊かで環境に優しい農業に取り組んでいることを知ってほしい。地域で生産したものが地域で消費され、地域が元気になることを期待している」と話しています。

FSC認証の製品には、チェックと木をモチーフにしたロゴマークが付いているよ。



FSC認証のロゴマーク

今週の注目ニュース

◇15日(火) 終戦記念日
1945年のこの日、昭和天皇が国民に向け、日本がポツダム宣言を受け入れ第2次世界大戦で降伏したことを伝えました。東京で全国戦没者追悼式が行われるほか、平和について考える行事が各地で開かれます。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ